



Weekly News

龍ヶ崎中央ロータリークラブ

2011.08.05

No.00667

R I District 2820 CLUB 50504

会 長：城出鴻二郎 幹 事：横澤啓二 連絡先：TEL 0297-66-3258 FAX 0297-66-3280 <http://rcrc.web5.jp>
 事務所：〒301-0032 茨城県龍ヶ崎市松葉 5-12-6 例会場：〒301-0857 茨城県龍ヶ崎市泉町 1592-77 (ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎)



本日のプログラム

【納涼会】

会場「和美」(なごみ)
 クラブ親睦委員会

次回のプログラム

【会員卓話】

川北会員)
 職業奉仕委員会

8月の主な行事：会員増強および拡大月間

第 665 回例会報告

点 鐘：城出鴻二郎会長

ロータリーソング：四つのテスト

ゲ ス ト：なし

ビ ジ タ ー：なし

会長報告：城出鴻二郎

■今年度1ヶ月が経ちました、ようやく私の心にロータリーサイクルが整いつつあります。しかし、色々と纏めなければならぬ問題も多く、一層のご協力をお願いする次第です。



夏も酷暑が戻りまして、これからの数ヶ月は皆さんご自愛を願います。若いといっても年相応にガタが来ているという認識だけは持っていたほうが良いと思います。体力を整え、気力を充実させ、目標感も大きく見据えて、というような気構えを持つことが必要ではと自分自身に言い聞かせています。

先週のジュニアボランティアは15名の子供たちが参加しました。リピーターが多く、70%程度のように。これから元気に各プログラムに参加してくれると願っています。6.7日はふれあいキャンプですから皆さんのご参加も宜しくお願い致します。

社会奉仕で、相馬郡新地町の高校との連携ボランティアについてまだ確定はしていませんが、参加者等規模などが見えてくれば、ご案内が出来ると思いますので、宜しくご協力の程お願い申し上げます。

ジュニアボランティアでも北茨城市の天津小学校への激励訪問を計画しては、今年度の閉校式は8月26日の予定を少し後にするような調整をしています。予定通り、新地町に行く場合には、26日の例会が時間的に窮屈になりますし、クラブ協議会もあって、時間的な余裕がなくなりますので、高校生生の状況等勘案して調整しています。8月29日に閉校式を変更いたし

ます。詳しくは社会奉仕委員会から改めてご説明とご協力についてお願い申し上げます。

幹事報告：横澤 啓二

■予定連絡：来週の納涼会前に定例の理事会を開催いたします。関係役員理事さんは宜しくご参集願います。予定は6時厳守と致します。

■例会変更：藤代RCさん8月8日例会を8月4日の夜間例会場所は伊太利庵ポーノ時間午後6時から8時 取手RC合同例会 納涼ビアパーティー及び、8月15日は定款だい6条Cにより休会です。



■地区行事：先週は23日に職業奉仕地区研究会がありました、後ほど、ご報告をいただきます。又、17日の米山研究会についても、海老原委員長さんにご報告をいただきます。

■行事案内：日曜日には、ロータリー財団セミナーが東雲で開かれます。荒木先生よろしくごお願い申し上げます。

■先週土曜日ジュニアボランティアスクールの開校式がありました、海老原さんご出席ありがとうございました。小学校中学校の児童15名の参加がありました。

社会奉仕委員会

■平成23年7月27日、夕刻、国県指定無形文化財である「撞舞」が行なわれました。今年度も撞舞保存会に対して支援金を贈呈しています。この保存会は、芸術演技の研究、育成伝承及び実行を目的とし活動しております。来年もその雄姿に期待致します。



特集(寄稿文)

中国の大連を訪問して

海老原会員

5月28日土曜日 自宅を午前6時に出発して、一緒に行く仲間を、5名自宅に迎えに行き、成田空港に7時30分ごろに到着して、10時10分成田国際空港を出発しました。ワイン・ビールは、おかわりが良いということで、ワイン3本、ビール1缶をいただき、食事をいただきました。大連に12時15分に到着して、迎えの車に乗って、天候は、晴れですが、一寸かすんでいるように見えました。

車は、ほとんどが、ほこりっぽいのであまり雨が降らないように思います。そして信号が少なく、車のマナーは、あまり良くない、クラクションがあちらこちらから聞こえて、割り込みが自由で、駐車は、右、左、お店の玄関前、などどこでも空いているところに置いてしまいます。歩行者は、歩道でないところでも動いている車の間を平気で渡りますから、常に気をつけていないと事故につながるように思います。私たちが、横断歩道を信号機に従って渡っても、車は、歩行者がいても右折する車は、何時までもつながってくるので横断歩道を渡りきれないで、途中で待っている状態です。ホテルについて、旅行会社の人が、ホテルのチェックインをしてくれているのですが、時間がかかり、入国検査より時間がかかりなぜなんだろうと思いました。ホテルは、5星で(ケンピンスキーホテル)でした。始めに中国マッサージに行こうということで体験しましたが、若い女性にしてもらいましたが、2時間で2,500円ぐらい、とても気持ちよくて良かったと言う人が、いますが、自分は、かなり痛くって我慢していました。上手な人とまだまだな人がいるのかなと思いました。車で移動した時に町並みを見て、銀行があちこちに見られ半径一キロないに20ぐらいの銀行が見えました。それと建設中の建物が多くタワークレンが、一寸見たところ10機以上が見えたのと植栽の工事があちらこちらでしています。それから道路を掃除する人が、制服を着て、箒と塵取りを持ってあちこちに見られましたので、比較的街は、綺麗です。夕食は、(万宝海鮮宝舫)で生きている海鮮料理を自分で見て係の人話をしながら自分で料理を選んで料理をしてもらい個室を予約してあったのでそこでいただきました。(車えび一匹料理してもらおうと20,000円)ぐらいになります。料理は大変美味しくいただきました。次の日5月29日日曜日は、朝食はバイキングで食事をしましたが、ご飯はばさばさで、チャーハンなら美味しかったと思いました。それから車で、旅順に向かい203高地を見て来ました。



その後海辺の公園を見て海はゴミがありあまり綺麗ではないようでした。公園には、遊ぶものもあまりないのに人が大勢集まり、高いところには、手摺もなく日本では考えられないような危険なところもありました。その後ショッピングをして、夕食には、(上海小南国)このビルは、



ブランドのお店がいっぱいあり、ジャケットは、¥25,000の値段がついていましたが、店員に聞いてみたら元25000です。一元12.5円で312,500円かなり高いと思いました。私は、ブランドは、あまり気にならないため値段が良くわからないので、でもいい洋服は、手入れが大変で虫がついたりしやすいので、普通の洋服が、自分にはあっていると思いました。料理は、とても美味しく量も多く、団体でお店に行かないと食べきれないと思いました。

米山奨学委員会

財)ロータリー米山記念奨学会

理事長 板橋敏雄

新年度を迎えて、一言ご挨拶申し上げます。

昨年度(2010年度)の寄付は予算13億円を達成できました。震災復興に向けて日本のロータリー全体が尽力するなか、一人当たりの平均寄付額が2万円を超えた地区が5地区、また、一人当たり寄付額の全国平均は前年度より125円上回りました。皆さまのご努力に心より御礼申し上げます。

しかしながら、この予算(寄付収入13億円)は「奨学資金特別積立財産」を取り崩すことを前提に策定した赤字予算であり、年間800名の奨学支援に必要な経費(14億5千万円)を賄うことはできておりません。去る6月3日、全国から32名の理事が出席して開催された理事会にて、今年度(2011年度)の事業計画と予算を審議しました。支援する奨学生数は昨年度と同じ800名とし、寄付収入予算も前年度実績を踏まえ、同額の13億円と決定しました。経費約14億5千万円との間で生じる約1億5千万円の不足は、昨年度同様、このような事態に備えて積み立ててある「奨学資金特別積立財産」を取り崩して充当することも併せて決議しましたが、取り崩しは今回で最後とすることといたしました。

これらの決議を行うに際して、今後、寄付を増進するのか、奨学生数を減らすのか、奨学生数を維持して、一人当たりの奨学金額を減らすのかなどについて、理事の皆さんによる活発な議論が行われました。

結論として、今年度の寄付金が14億5千万円を達成しなければ、この奉仕事業の根本を揺るがすものとなることを一刻も早く明確に示し、寄付増進をお願いしなければならないとの認識で一致しました。

本日のプログラム

クラブ奉仕委員長：長友芳郎

人間の利益追求によって産業革命以来急激に環境が激変しました。エゴの結果としての不利益を増大させることにより子孫が困ることになります。人間と社会、人間と自然環境のバランスを真剣に考え改善しなければなりません。ロータリーの寛容、利己と利他の調和等の考えは職業のみならず、すべてにおいて適応させる必要があります。その精神をお互いに高めあう機会が毎回の例会であることを常に念頭に置いて例会に望む心構えが必要です。



1992年6月。ブラジル、リオ・デジャネイロでの「環境と開発に関する国連会議（環境サミット）」に集まった世界の指導者たちを前に、たった12歳の少女、セヴァン・スズキは伝説のスピーチをした。

■こんにちは セバン・スズキです。エコを代表してお話しします。エコというのは子供環境運動（environmental children organization）の略です。カナダの12-13歳の子供達の集まりで今の環境を変えるためにがんばっています。あなた方大人たちに是非生き方を変えていただくようお願いするために、自分たちで費用を貯めて、カナダからブラジルまで1万キロの旅をしてきました。

私の今日の話には裏も表もありません。なぜって私が環境運動をしているのは私自身の未来のため、自分の未来を失うことは、選挙で負けたり、株で損したりするのは、わけがちがうんですから。私がここに立って話しているのは、未来に生きる子供達のためです。世界中の飢えに苦しむ子供達の為です。そしてもう行くところ無く死に絶えようとしている無数の動物たちの為です。太陽のもとにでるのが私は怖い、オゾン層に穴があいたから、呼吸をすることさえ怖い。空気にどんな毒が入っているかもしれないから。父とよくバンクーバーで釣りをしたものです。数年前、体中ガンでおかされた魚に出会うまで。そして今動物や植物たちが毎日のように絶滅していくのを私たちは耳にします。それらはもう永遠にもどってはこないんです。

私の世代には夢があります。いつか野生の動物たちの群れや、たくさん鳥や蝶が舞うジャングルをみることです。



でも私の子供達の世代は、もうそんな夢を持つこともできなくなるのではないかな？あなた方はわたしぐらいの歳の時に、そんなことを心配したことがありますか。こんな大変なことが、ものすごい勢いで起こっているのに、私たち人間ときたら、まるでまだまだ余裕があるようなのきな顔をしています。まだ子供の私に、この危機を救うのに何をしたらいいのかわかりません。でも、あなたがた大人にも知ってほしいんです。あなたがたも良い解決法なんてもってないってことを、オゾン層にあいた穴をどうやってふさぐのか、あなたは知らないでしょう。

死んだ川にどうやってサケを呼びもどすのか、あなたは知らないでしょう。絶滅した植物をどうやって生き返らせるのか、あなたは知らないでしょう。そして今や砂漠となってしまった場所にどうやって森をよみがえらせるのか、あなたは知らないでしょう。どうやってなおすのかわからないものを、壊し続けるのはもうやめてください。

ここではあなた方は、政府とか企業とか団体とかの代表でしょう。あるいは報道関係者か政治家かもしれない。でも本当はあなたがたも誰かの母親であり、父親であり、兄弟であり、叔母であり、叔父なんです。そしてあなたがたのだけれど、だれかの子供なんです。私はまだ子供ですが、ここにいる私たちみんなが同じおおきな家族の一員であることを知っています。そうです50億以上の人間からなる大家族いいえ、じつは3千万種類の生物からなる大家族です。国境や各国の政府がどんなに私たちを分け隔てようとしても、このことは変えようがありません。私は子どもですがみんながこの大家族の一員であり、一つの目標に向けて心一つにして行動しなければならないことを知っています。私は怒っています。でも自分を見失ってはけません。

私は怖い。でも自分の気持ちを世界中に伝えることを、私はおそれません。私の国での無駄遣いは大変なものです。買っては捨て、また買っては捨てています。それでも物を浪費し続ける北の国々は、南の国々と富を分かち合おうとはしません。物が有り余ってるのに、私たちは自分の富を、そのほんの少しでも手放す



← 上高地 ↑ (by Yokoyama)

のが怖いんです。

カナダの私たちは十分な食物と水と住まいを持つ恵まれた生活をしています。時計、自転車、コンピューター、テレビ、私たちの持っているものを数え上げたら何日もかかることでしょう。二日前に家のないストリートチルドレンと出会い。私たちはショックを受けました。一人の子どもが私たちにこう言いました。「僕がかねもちだったらなあ。もしそうなら家のない子すべてに、食べ物と、着る物と、薬と、住む場所と、優しさや愛情をあげるのに。」家も何もないひとりの子どもが、分かち合う事を考えているというのに、すべてを持っている私たちがこんなに欲が深いのは、いったいどうしてなのでしょう。これらのめぐまれない子ども達が私と同じくらいの歳だということが、私の頭を離れません。どこに生まれついたかによって、こんなにも人生がちがってしまう。私がリオの貧民窟に住むこどもの一人だったかもしれないんです。

ソマリアの飢えた子どもだったかも、中東の戦争で犠牲になるか、インドで乞食をしていたかもしれないんです。私は子どもだけこのことを知っています。もし戦争のために使われているお金を全部貧しさと環境問題を解決する為に使えばこの地球はすばらしい星になるでしょう。

学校で、いや幼稚園でさえあなたがた大人は私たちに、世の中でどう振る舞うかを教えてください。たとえば争いをしないこと、話し合いで解決すること、他人を尊重すること。散らかしたら自分で片付けること、ほかの生き物をむやみに傷つけないこと、分かち合うこと、そして欲張らないことならば何故あなたがたは、私たちにするなということをして、しているんですか。何故あなたがたがこういう会議に出席しているのか、どうか忘れないでください。そしていったい誰のためにやっているのか。それはあなた方の子ども、つまり私たちのためです。あなたがたはこうした会議で、私たちがどんな世界に育ち生きていくのかを決めているんです。

親たちはよく「大丈夫、すべてうまくいくよ」といって子ども達を慰めるものです。あるいは「できだけのことにはしているから」とか、「この世の終わりじゃあるまいし」とか。しかし大人達はもうこんな慰めの言葉さえ使うことが出来なくなっているようです。お聞きしますが、私たち子どもの未来を真剣に考えたことがありますか？ 父は私にいつも「不言実行」つまり何を言うかではなく、何をするかでその人の値打ちが決まる、と言います。しかしあなたがた大人の方のやっている事のせいで、私たちは泣いています。あなた方はいつも私達を愛していると言います。しかし、私は言わせてもらいたい。もしその言葉が本当なら、どうか、本当だということを行動で示してください。最後まで私の話を聞いてくださってありがとうございます。

■人物：現代文学で博士号を取得したタラ・エリザベス・スズキと、著名なカナダの遺伝学者で環境問題活動家のデヴィッド・スズキ（生物学で博士号取得）の娘として生まれる。カリスは、エコロジーと進化生物学で 2002 年エール大学で理学士の学位を取得している。彼女は、世界中で環境問題について講演活動を展開、聴取者に自らの価値観の転換と未来に何を残せるのか、またその上で自らの責任を全うすることを求めている。



(Wikipedia より)

本日出席状況

会員	20名	出席率	66.67%
出席者	9名	出席者	66.67%
出席免除者	2名	亀尾会員	吉澤会員
(定款第9条3節a)	1名	馬場会員	
Make-up	3名		

ニコニコボックス(目標額 600,000 円)

本日 4 件 9,000 円(本年度累計 37,000 円)

米島会員：・・・・・・。

横山会員：台風が心配です。

海老原会員：7月30日-31日は牛久カップ祭りです
川上会員：上着を一緒に車検に出してしまいました。

時期を見て国際奉仕予算をドルに換えますか？

ロータリー豆知識

《8月会員増強月間について》

(亀尾会員)

1988年8月から「会員増強および拡大月間」と定められている。会員は何ら問題がなくても、死亡による減少は避けられません。従って会員増強が必須となります。

先人が100年営々と築いてきた大きな遺産を、私たちはさらに発展させなければなりません。「ロータリー日本50年史」に「質が良くなければ尊重される資格はないが量においても相当大きいものでなければ力をなし得ない。質も量によって保障される。」と有りますが、100年を契機に反省をしてみる時期に来ているのではないのでしょうか。

例会の欠席は、水曜日 AM:10:00 までに川上副 SAA
TEL 090-3497-0383 に連絡して下さい。